

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
松本歯科大学衛生学院		昭和51年2月14日		笠原 悦男		〒 399-0781 (住所) 長野県塩尻市広丘郷原1780 (電話) 0263-51-2149				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人松本歯科大学		昭和47年1月29日		矢ヶ崎 雅		〒 399-0781 (住所) 長野県塩尻市広丘郷原1780 (電話) 0263-51-3100代				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
医療	医療専門課程	歯科衛生士学科		平成22(2010)年度	-	平成29(2017)年度				
学科の目的	松本歯科大学衛生学院は、歯科衛生士に必要な知識と技術を教授するとともに、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。【学則第1条】									
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能な資格 歯科衛生士国家試験受験資格 中退率 令和5年4月1日時点において、在学者122名(令和5年4月1日入学者を含む) 令和6年3月31日時点において、在学者118名(令和5年3月31日卒業者を含む)									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入			2,940 単位時間	1,120 単位時間	320 単位時間	1,440 単位時間	0 単位時間	60 単位時間
					110 単位	57 単位	13 単位	38 単位	0 単位	2 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)						
200人	179人	0人		0%						
就職等の状況	■卒業者数(C)		24人							
	■就職希望者数(D)		25人							
	■就職者数(E)		24人							
	■地元就職者数(F)		19人							
	■就職率(E/D)		96%							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		79%							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		100%							
	■進学者数		0人							
	■その他									
	(令和5年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無					
	評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL					
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.mdu.ac.jp/hygienics/">https://www.mdu.ac.jp/hygienics/</a>									
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)									
	総授業時数		20 単位時間							
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		20 単位時間								
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間								
うち必修授業時数		20 単位時間								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		20 単位時間								
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間								
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間								
	(B: 単位数による算定)									
	総授業時数		単位							
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位								
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位								
うち必修授業時数		単位								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位								
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位								
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位								
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		3人							
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		5人							
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		人							
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		人							
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		人							
	計		人							
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		8人								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

・専攻分野に関する職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するために教育課程編成委員会を置く。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

・教育課程編成委員会において、業界の動向、実務における最新知識、技術等に関して助言を得るほか、授業内容や方法の改善について意見交換を踏まえ、職員会により授業計画を作成している。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
西窪 結香	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
長瀬 昭子	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
阪西 あい	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
西澤 恵美	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
笠原 由香	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
藤原 彩	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
柳沢 みさき	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
藤升 泉	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

・年3回開催。開催時期は7月、9月、3月。

(開催日時(実績))

第1回 令和5年7月27日 13:30～14:30

第2回 令和5年9月25日 13:30～14:30

第3回 令和6年3月18日 15:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・教育課程編成委員から出された意見を基に臨床・臨地実習前の基礎実習および講義の内容を見直し、現在の歯科医療現場に即した教育内容に修正した。また、学生が積極的に取り組めるよう臨床実習の到達目標を修正すると共に、臨床実習の在り方と方策を継続して検討している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

・医療人である歯科衛生士としての自覚を持ち、多職種との連携をとりながら業務を実践するための態度と能力を育成する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

・臨床実習においては、臨床実習指導者との会議を年3回開催し、情報交換をするとともに実習状況が常に把握できるよう連携を図る。

・社会福祉施設における臨地実習では、施設関係者と実施内容について実習前後に打合わせを行い、実習状況・実習記録から学生を評価するとともに次年度の課題を明確にする。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨地実習Ⅰ	歯科臨床の場において実習を行い、歯科衛生士として行動する基礎能力を習得する。	松本歯科大学病院、塩尻市保健センター、心身障害者施設
臨地実習Ⅱ	臨床実習に加え、公衆歯科衛生現場や社会福祉施設における実習を行い、多職種との協働を学ぶ。	松本歯科大学病院、塩尻市保健センター、心身障害者施設、老人保健施設
歯科保健指導論Ⅲ	個人や集団に対して、健康な口腔を維持するために必要な保健行動が習慣化できるよう、専門的立場から支援・助言する能力を養う。小学校で歯科保健指導実習を行う。	小学校、株式会社ジーシー、株式会社モリタ
医療事務(歯科)	歯科医療事務職として必要な医療保険の仕組みを理解し、歯科治療における保険請求事務知識を習得し、医療事務の資格取得を目指す。	株式会社ニチイ学館
健康管理	将来歯科衛生士として健康的に活躍できるセルフケアを身につけるとともに、「健康」について考察し、患者の健康を支える医療職としての自覚を養う。	株式会社ジーシー、グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・教員に歯科衛生士の養成に係る業務に必要な知識又は技術を修得させ、教員の能力向上と資質の向上を図るため、「松本歯科大学衛生学院教員研修規程」を定めている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ハイパー感染管理 2023 第2回 オンデマンド	連携企業等: 特定非営利活動法人日本・アジア口腔保健支援機構(JAOS)
期間: 2023年5月13日～6月18日	対象: 歯科医師・歯科衛生士・歯科助手をはじめ、コメディカル及びJAOS認定歯科検定管理者
内容: 器具の管理・保管からPPEの使用法まで	
研修名: 長野県歯科衛生士会研修会	連携企業等: 長野県歯科衛生士会
期間: 2023年5月21日	対象: 歯科衛生士
内容: 歯周病アップデート	
研修名: 訪問歯科セミナー	連携企業等: 株式会社ヨシダ
期間: 2023年6月14日	対象: 歯科医師、歯科衛生士
内容: 訪問歯科診療の現状と基礎知識	
研修名: 長野県歯科衛生士会中信支部研修会	連携企業等: 長野県歯科衛生士会
期間: 2023年6月25日	対象: 歯科衛生士
内容: こどもの発達障害について 精神疾患を有する患者さんへの対応	
研修名: 上田小県支部主催研修会	連携企業等: 長野県歯科衛生士会
期間: 2023年9月3日	対象: 歯科衛生士
内容: 「歯科衛生士のための最新MRONJ事情」	
研修名: デュールデンタルジャパン無料ウェビナー	連携企業等: WHITE CROSS株式会社
期間: 2023年9月10日	対象: 歯科医療従事者
内容: 【Part 2】ゼロから学ぶ! 新規開業・改装時の感染対策 ～実践編～	
研修名: 日本歯科衛生学会 第18回学術大会	連携企業等: 日本歯科衛生士会
期間: 2023年9月16日～18日	対象: 歯科衛生士
内容: 人生100年時代、求められる地域医療連携とはー歯科衛生士の専門性を探るー	
研修名: 長野県歯科衛生士会生涯研修会	連携企業等: 長野県歯科衛生士会
期間: 2023年9月24日	対象: 歯科衛生士
内容: 県民公開講座「子どもの口腔機能発達不全症って何?」	
研修名: 長野県歯科衛生士会口腔健康管理研修会	連携企業等: 長野県歯科衛生士会
期間: 2023年10月22日	対象: 歯科衛生士
内容: 摂食嚥下障害における評価と訓練の実践	
研修名: 長野県歯科衛生士会歯周病研修会	連携企業等: 長野県歯科衛生士会
期間: 2023年11月5日	対象: 歯科衛生士
内容: 歯科衛生士が知っておくべき歯周外科治療のUp to Date	
研修名: WHITE CROSSセミナー[録画配信]	連携企業等: WHITE CROSS株式会社
期間: 2023年11月14日～12月15日	対象: 歯科医療従事者
内容: 年々増加! 小児在宅歯科医療が必要な子ども達について	

研修名：長野県歯科衛生士会地域歯科保健研修会 期間：2023年11月26日 内容：令和の新常識 なぜう蝕と歯周病は起こるのか	連携企業等：長野県歯科衛生士会 対象：歯科衛生士
研修名：令和5年度災害支援研修会 期間：2023年12月10日 内容：PFA研修会	連携企業等：長野県歯科衛生士会 対象：歯科衛生士
<b>②指導力の修得・向上のための研修等</b>	
研修名：全国歯科衛生士教育協議会関東甲信越地区会講演会 期間：2023年8月5日 内容：学生のこころの問題と対応のための体制づくり	連携企業等：全国歯科衛生士教育協議会 対象：歯科衛生士専任教員
研修名：第14回日本歯科衛生教育学会 期間：2023年12月2日～3日 内容：歯科衛生教育におけるプロフェッショナリズムの醸成	連携企業等：日本歯科衛生教育学会 対象：歯科衛生士専任教員
研修名：歯科衛生士専任教員講習会VI 期間：2023年12月2日～3日 内容：「高齢者にやさしい服薬とその管理とは？」「最後まで食べられる街づくり-地域色支援の実践-」	連携企業等：全国歯科衛生士教育協議会 対象：歯科衛生士専任教員
<b>(3)研修等の計画</b>	
<b>①専攻分野における実務に関する研修等</b>	
研修名：ライオン歯科衛生研究所予防歯科セミナー 期間：2024年4月14日 内容：一人ひとりに寄り添う歯科医療を目指して	連携企業等：ライオン歯科衛生研究所 対象：歯科衛生士
研修名：長野県歯科衛生士会生涯研修会 期間：2024年5月19日 内容：歯科衛生士に必要な口腔粘膜の知識	連携企業等：長野県歯科衛生士会 対象：歯科衛生士
研修名：小児の保健指導シリーズ1 期間：2024年6月30日 内容：Stage1 子育て口育て ブラッシングセミナー	連携企業等：NDL mint-seminar 対象：歯科医療従事者
研修名：地域密着型研修会 期間：2024年7月1日 内容：周術期口腔機能管理	連携企業等：長野県がん診療医科歯科連携事業運営委員会 対象：歯科医師、歯科衛生士
研修名：SD研修会 期間：2024年7月19日 内容：歯科医療の現在地と近未来	連携企業等：松本歯科大学 対象：教職員
研修名：日本歯科心身医学学会総会・学術大会 期間：2024年7月19日 内容：歯科心身医学に関する講演	連携企業等：日本歯科心身医学学会 対象：歯科医師、歯科衛生士
研修名：長野県歯科衛生士会口腔健康管理研修会 期間：2024年7月28日 内容：現場で実践する摂食嚥下リハビリテーション	連携企業等：長野県歯科衛生士会 対象：歯科衛生士
研修名：小児の保健指導シリーズ2 期間：2024年7月28日 内容：Stage2 むし歯予防だけじゃない 歯科からすすめる食育セミナー	連携企業等：NDL mint-seminar 対象：歯科医療従事者
研修名：地域歯科保健活動支援研修会 期間：2024年8月4日 内容：乳幼児の食べる機能の発達支援	連携企業等：日本歯科衛生士会 対象：歯科衛生士
研修名：日本歯科衛生学会 第19回学術大会 期間：2023年9月21日～23日 内容：ライフコースを通じた健口文化の醸成	連携企業等：日本歯科衛生士会 対象：歯科衛生士
研修名：長野県歯科衛生士会生涯研修会 期間：2024年10月6日 内容：県民公開講座「笑いと健康」～心と身体を癒す笑いの力～	連携企業等：長野県歯科衛生士会 対象：歯科衛生士
研修名：小児の保健指導シリーズ3 期間：2024年10月6日 内容：Stage3 小児の口腔機能セミナー	連携企業等：NDL mint-seminar 対象：歯科医療従事者
研修名：長野県歯科衛生士会歯周病研修会 期間：2024年11月10日 内容：公開講座「患者さんのリスクファクターに対応するメンテナンス」	連携企業等：長野県歯科衛生士会 対象：歯科衛生士
<b>②指導力の修得・向上のための研修等</b>	
研修名：全国歯科衛生士教育協議会関東甲信越地区会講演会 期間：2024年7月27日 内容：Eat Right～健康に食べる歯科から健康を守る食育～	連携企業等：全国歯科衛生士教育協議会 対象：歯科衛生士専任教員

研修名: 歯科衛生士専任教員講習会Ⅱ	連携企業等: 全国歯科衛生士教育協議会
期間: 2024年7月29日～8月2日	対象: 歯科衛生士専任教員
内容: 歯科衛生士専任教員講習会(講義・演習)	
研修名: 第15回日本歯科衛生教育学会	連携企業等: 日本歯科衛生教育学会
期間: 2024年11月30日～12月1日	対象: 歯科衛生士専任教員
内容: 歯科衛生学教育の多様性と可能性の探究	
研修名: 歯科衛生士専任教員講習会Ⅵ	連携企業等: 全国歯科衛生士教育協議会
期間: 2024年11月30日～12月1日	対象: 歯科衛生士専任教員
内容: 教育講演Ⅰ・教育講演Ⅱ(内容未定)	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針  
 ・教育活動その他学校運営の状況を把握し、自己評価結果及び改善方策等を考察するために学校関係者評価委員会を置いている。委員会構成は、学外委員を評価委員とし、学内委員(学院長、教務主任、事務職員)が事務局として参画している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ事業
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。  
 (3)学校関係者評価結果の活用状況  
 ・学校関係者評価の結果については自己点検評価委員会で検討し、指摘事項については改善を図るとともに、必要に応じて次期の目標・計画に反映させている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
樋口 大輔	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	関連業界
西窪 結香	松本歯科大学病院	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
 (ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他( ))  
 URL: <https://www.mdu.ac.jp/hygienics/feature/disclose.html>  
 公表時期: 令和6年6月17日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  
 ・学校の情報は、ホームページや広報紙で提供し、本校の教育活動の状況を理解してもらうことを基本方針としている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	HPと広報紙で情報を提供。学校の概要、情報公開(教育目標、学則)
(2)各学科等の教育	HPで情報を提供。情報公開(学則、シラバス、資格・国家試験・就職状)
(3)教職員	HPで情報を提供。学校の概要
(4)キャリア教育・実践的職業教育	HPで情報を提供。情報公開(自己評価、シラバス、資格・国家試験・就職状)
(5)様々な教育活動・教育環境	HPで情報を提供。クラブ活動紹介、情報公開(自己評価、シラバス)
(6)学生の生活支援	HPで情報を提供。学生相談、情報公開(自己評価)
(7)学生納付金・修学支援	HPで情報を提供。入試関連情報(学費・奨学金)
(8)学校の財務	HPで情報を提供。情報公開(財務の概要等)
(9)学校評価	HPで情報を提供。情報公開(自己評価、学校関係者評価結果)
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。  
 (3)情報提供方法  
 (ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他( ))  
 URL: <https://www.mdu.ac.jp/hygienics/feature/disclose.html>

授業科目等の概要

(医療専門課程 歯科衛生士学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		口腔生命科学入門Ⅰ	歯科医療と口腔疾患の概要を学び、歯科臨床のシステムを理解することによって、臨床歯科医学履修のための基盤を形成する。	1	30	2	○			○			○	
2	○		口腔生命科学入門Ⅱ	人体の生命現象および心理学の基礎を学び、専門科目の履修につながる基礎知識を習得する。	1	30	2	○			○			○	
3	○		歯科英語	基本的な英語の発音を学びながら、歯科衛生士として、診療の際に必要な英語能力を養う。	2	30	2	○			○			○	
4	○		医療コミュニケーション	医療従事者として必要なコミュニケーションに関する知識と技術を習得する。	1	30	2		○		○			○	
5	○		言語表現	基本的な文章を読み理解力をつけ、漢字の適切な使い方を学ぶ。自分の理解した内容を筋道を立ててまとめ、自分が伝えたい内容を、読み手聞き手にわかりやすく伝える力をつける。	1	30	2	○			○			○	
6	○		身体と健康	身体の構造と機能を知ることから始まり、アンチエイジング、生活習慣病予防における運動の役割について学ぶ。さらに理論の応用及び実践を図る。	1	60	2			○	○			○	
7	○		人体の構造と機能Ⅰ	生体の機能を考えながら、肉眼レベルおよび顕微鏡レベルの人体全身の構造について学ぶ。	1	30	2	○			○			○	
8	○		人体の構造と機能Ⅱ	生命現象を理解するために、生体内の化学反応および物質代謝を理解し、筋・神経・呼吸・循環など生体機能について学習する	1	30	2	○			○			○	
9	○		歯・口腔の構造と機能Ⅰ	歯科医学の基礎として重要な「口腔」と「歯」と関連器官について、その構造と機能、及び組織構造を解説する。	1	60	4	○			○			○	
10	○		歯・口腔の構造と機能Ⅱ	口腔領域の正常な機能を理解するために、口腔感覚・咀嚼・嚥下・歯の構成成分・唾液の成分・歯周疾患と免疫などの口腔機能について学ぶ。	1	30	2	○			○			○	
11	○		病理学・口腔病理学	疾病の病因・病態・種類・転帰を理解し、口腔顎顔面領域の疾患と代表的な全身疾患の病態について修得する。	1	30	2	○			○			○	
12	○		薬理学・歯科薬理学	薬物の薬力学と薬物動態学を学び、将来の医療現場で使用する薬物や患者が服用している薬物を理解できるようにする。	1	30	2	○			○			○	
13	○		微生物学・口腔微生物学	微生物の基本的性状、ヒトと感染症の関係を理解する。また口腔領域における感染症の発症機序の理解を深める。	1	30	2	○			○			○	
14	○		口腔衛生学Ⅰ	歯・口腔の疾病予防と健康の保持増進の原理を理解し、集団レベルでの疾病予防、健康管理に必要とされる知識を学ぶ。	1	30	2	○			○			○	
15	○		口腔衛生学Ⅱ	公衆歯科衛生・地域歯科保健活動に必要な歯科疾患の疫学の基礎として歯科衛生統計について学ぶ。	1	30	2	○			○			○	

16	○	衛生学・公衆衛生学	集団の健康を保持増進するための社会医学を理解し、疫学等包括的な問題解決方法の考え方を習得する。	1	30	2	○			○			○
17	○	衛生行政・社会福祉	医療従事者として必要な法規や社会保障制度及び国際保健を学ぶことで、幅広い知識を養う。	2	30	2	○			○			○
18	○	歯科衛生士概論	歯科衛生士の業務と社会的役割を理解し、それぞれが目指す歯科衛生士像を明確にする。	1	30	2	○			○		○	○
19	○	保存修復・歯内療法学	保存修復学・歯内療法学の意義、手技等を理解し、歯科医師と協力して適切でより良い医療を患者に提供出来るようにする。	2	30	1	○			○			○
20	○	歯周療法学	歯周病の原因や進行のメカニズムをよく理解し、その予防法と治療法について理解する。	2	30	1	○			○			○
21	○	歯科補綴学	咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴治療の基礎知識を習得する。	2	30	1	○			○			○
22	○	口腔外科学	顎顔面領域の疾患について、今日の歯科治療に反映すべく、充分な知識の習得を行う。	2	30	1	○			○			○
23	○	小児歯科学	小児期からの全身と口腔領域の正常な成長発育を理解し、成長発育を考慮した口腔健康管理・治療について理解する。	2	30	1	○			○			○
24	○	歯科矯正学	不正咬合に対する治療の必要性とその意義を理解し、歯科衛生士として必要な咬合の育成とその維持、ならびに不正咬合の改善に関する基礎的知識を理解する。	2	30	1	○			○			○
25	○	歯科放射線・歯科麻酔学	画像検査法の特徴と適応ならびに十分な知識、技能を有し、放射線の人体に対する影響、防護について理解する。/患者の全身の状態に気を配ることができる歯科衛生士になるようにする。	2	30	1	○			○			○
26	○	障害者歯科学	スペシャルニーズのある人々へ歯科保健と歯科医療を提供するための知識を習得する。	2	30	1	○			○			○
27	○	高齢者歯科学	高齢者へ歯科保健と歯科医療を提供するために必要な知識を習得する。	2	30	1	○			○			○
28	○	摂食・嚥下学	食べることに貢献できる歯科衛生士に必要な知識を習得する。	2	30	1	○			○			○
29	○	歯科予防処置論Ⅰ	口腔保健の意義および口腔疾患予防法の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な技術と知識を習得する。	1	120	4				○	○		○
30	○	歯科予防処置論Ⅱ	対象者個人に対応したプロフェッショナルケア実践するために、ケアのプランニングから介入までの技法を習得する。	2	90	3				○	○		○
31	○	歯科予防処置論Ⅲ	歯周検査および歯周疾患予防処置の復習を行い、臨床への応用力を高める。	3	60	2				○	○		○
32	○	歯科保健指導論Ⅰ	歯科衛生士として専門的な指導をするために、口腔保健の基礎を学ぶ。	1	60	2				○	○		○
33	○	歯科保健指導論Ⅱ	ライフステージに応じたケアプランニングから実践までの技法を習得する。	2	90	3				○	○		○

34	○		歯科保健指導論Ⅲ	臨床において歯科衛生過程の実践できる能力を養う。	3	60	2		○	○	○	○	
35	○		栄養学・栄養指導法	ライフステージ別に必要な栄養を選択できる知識を習得する。 栄養アセスメントを通じて、乳幼児期から老齢期の食事指導が行える能力を習得する。	1	30	2	○		○		○	
36	○		歯科診療補助論Ⅰ	歯科診療に関心を持ち、歯科衛生士に必要な身だしなみ、歯科材料および器械の知識と取り扱いを学ぶ。	1	120	4		○	○	○	○	
37	○		歯科診療補助論Ⅱ	チーム医療における共同動作の意義を理解し、材料の取り扱いの実習を中心に臨床実習の準備を図る。	2	90	3		○	○	○	○	
38	○		歯科診療補助論Ⅲ	歯科衛生士の役割を再確認し、実習や演習を中心に、業務を効果的に行うため更に専門的な知識と技術を習得する。	3	60	2		○	○	○	○	
39	○		臨地実習Ⅰ	歯科臨床の場において実習を行い、歯科衛生士として行動する基礎能力を習得する。	2	450	10		○		○	○	○
40	○		臨地実習Ⅱ	臨床実習に加え、公衆歯科衛生現場や社会福祉施設における実習を行い、多職種との協働を学ぶ。	3	450	10		○		○	○	○
41	○		歯科衛生士特論	歯科衛生士国家試験の合格を目指し、専門基礎分野および専門分野の理解を深める。	3	240	8	○		○	○	○	
42		○	キャリアデザイン	「働くこと」を自分のこととして捉えると共に、自分らしい「キャリアの在り方」についての洞察を深め、将来社会に出て実践できるように、社会人として求められる姿勢や資質・能力を身につける。	2	30	2		○		○	○	○
43		○	医療事務（歯科）	歯科医療事務として必要な社会保険の仕組みを理解し、歯科治療における保険請求事務知識を習得する。	2	70	4	○		○		○	○
44		○	健康管理	将来歯科衛生士として健康的に活躍できるセルフケアを身につけるとともに、「健康」について考察し、患者の健康を支える医療職としての自覚を養う。	3	20	1		○		○	○	○
合計					44	科目		2940 単位（単位時間）					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：3年以上在学し、所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得すること。		1学年の学期区分	2期
履修方法：授業時数の3分の2以上出席し、各年次で履修すべきすべての必修授業科目について、単位を修得しなければならない。		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。